

第5回 旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会（議事概要）

- 1 日時 令和3年4月1日（木）午後4時30分～5時18分
- 2 場所 市役所本庁舎7階 全員協議会室
- 3 出席者 (1) 委員（Web会議1名）
柳委員長、福山副委員長、飯野委員、木田委員、堤委員（Web会議）、湯口委員
(2) 事務局
高橋企画推進部長、河井経営統轄監、渡邊政策企画課長、平田政策企画課課長補佐

4 内容

●委員長挨拶

前回、機能を絞り込めなかった。福山副委員長と絞り込んだ資料を作っているの議論をお願いしたい。

●委員からの主な意見

○委員 取りまとめが分かりやすくなっていると思う。前回も話したが防災・減災機能は基本。④憩いの場・コミュニティ機能・⑦娯楽・レジャー機能・⑨オープンスペース機能で広場がいいと思う。施設を作るよりみんなで自由に使える空間をセットするのがいいと思って見ていた。①教育・学習と⑧芸術・文化と②医療・福祉と③健康増進を民間が整備してくれたらいいと思う。広場を整備し、残りを民間が整備するという提案をしてほしい。資料1 P10の市民アンケート結果を踏まえて4つの方針が出ている。今回の場所・土地は右半分の改善分野を整備することが、説得力がある。特に重点改善分野・改善分野を整備していくことだと思っている。正副委員長の尽力で整理できているのもう少し整備していけば住民も納得する整理ができていると思う。

○委員 おっしゃる通り。活用策については、次回、検討したいと思っている。

○委員 私も委員とほぼ同意見。わかりやすく整理していただいた。また行政が考えるまちの将来の形や望ましい方向性についての計画も示されている。今回出されたように、例えばP10の市民アンケートの結果に示されているように、市民が住みよさの重要度において極めて重要であるとしながらも満たされていないところをきちんと押さえなければ、行政が考えている方向性と市民が望んでいる方向性が一致する。こういう整理の仕方、考え方が民主的に物事を決めていく上で一番大事だと思う。ただ、機能といっても極めて大きな括りになっているので、その中でもどういうものをうまく組み合わせると市民にとってより望ましい施設になるのか、またどうすればより多くの市民が後々も利用してくれるような施設になるのか、そしてそのためには官民でどう役割を分担するのか、ということも含めて考えていくと、非常にいいものができ上がると思う。少し先走って言うと、今後利用の方法を考えるわけだが、できるだけ行政が管理しない方がいいと思う。最悪なのは公園緑地課の一元管理だと思う。市民にとって一番いいのは、一定期間きちんと管理し改善を続けてくれる、そういう官民の組織で維持していけると非常にいい。

○委員 最終案のような提案だった。

○委員 十分まとめていただいている、本当にありがとうございます。資料1 P4の関連計画で、ブルーの居住推進ゾーン、にぎわい魅力創出ゾーンに位置付けられている。なおかつ歴史文化を有する交流拠点を想定しているという話だった。特に、居住推進、にぎわい魅力創出に向けて、今回、整理いただいた①から⑨までの機能がどう位置付けられていくのかという具体のところをこれからのワークショップ等で市民の方々に伺うことができるといいと思った。併せてP10 ページの4つのマトリックスの中で言うと、まさに改善分野に紐づいていくと思っ

て見た。この重点改善分野の雇用の場の確保を今回機能とするわけではないが、今後検討していくと書かれてあったビジネス機能、観光コンベンション機能等の検討にも関わってくる。この辺りをどう拾っていけばいいのかを、今後検討いただけるといいのと思った。

○委員 ビジネスは、医療・福祉機能の活用例で考えられるので、次回の活用策で十分検討したいと思う。

○委員 わかりやすくなった。ありがとうございます。少し進んだという感想。**資料2**P3だと④、⑦、⑨は広場という感じで、①、⑧、②、③は施設が必要というイメージができた。活発に利用するものになってもらいたいので、「広場なのか施設なのか」、「平日なのか休日なのか」、「朝なのか夜なのか昼なのか」と、キーワード、要素を絞っていくと意見が出ると思っているところ。

○委員 もうすでに意見があり繰り返しになるが、アンケートで下位を切り捨てるわけではなく副次的に考えていくということ。活用策によって、娯楽・レジャーが教育・芸術とくっつくなど、フレキシブルにスタートポイントの絵として書かせていただいた。

○委員 活用例については、非常に活発な意見が出ると思っている。今日は機能を絞り込むのが目標。防災・減災機能はベーシックな機能として必要。それを生かしながらどういう機能を付け加えるかという図。いろいろ協議しながらアンケートをとっていただければいい。

○委員 住宅地でもあるし観光地でもある。**資料1**P9に対し答えを出した方がいい。29%削減と書いているが、民間に任せるというスタンスを示すことができれば、それがにぎわいにつながると思う。公共がお金を出してやるのは一時的にはいいが、市の負担になる。民間が盛り上げる発想をすれば1番いいし、アンケートの結果を見てもそうあるべきだと思う。それくらいまで市で示すことが出来ればいいと思っている。

○委員 財政についてはアンケートでも非常に厳しい意見がある。財政についてお金を使った活用策は望まない意見が多くあった。活用策の時に29%の削減も含めて論議をしていただきたい。

○委員 P9の施設量29%削減する目標設定の施設量とは、延べ床面積と理解していいか。他の指標か。
■事務局 お見込みのとおり延べ床面積である。

○委員 今回、防災・減災機能をベースに、教育・学習、芸術・文化を1つの機能、医療・福祉、健康増進を1つの機能。憩いの場・コミュニティ、娯楽・レジャー、オープンスペース、5つの機能に絞った。ただ、これに縛られることなく、ビジネス機能をこの中に組み込むなど、次の活用策として十分検討していただければと思う。

■事務局 次回の専門家委員会については、日程を整理し調整させていただきながら進めたい。

○委員 他に意見はあるか。

○委員 以前いただいた資料の中に鳥取市地域防災計画はあったか。

■事務局 まだ提供していない。

○委員 ぜひその資料をみんなに提供してほしい。

■事務局 承知した。

○委員 ほかに意見はあるか。

○委員 次回の専門家委員会はワークショップの前に開催するのか。

■事務局 事務局としては、ワークショップの前に開催をさせていただければと考えている。

○委員 議題の想定は。

■事務局 ワークショップの進め方、内容を議論いただければと考えている。

○委員 ワークショップは基本、昨年実施された内容と同じスタイルか。何か改善策はあるのか。

■事務局 前回のワークショップでも、皆さんに求められる機能は何かと聞いた。本来のワークショップは、皆さんで意見を述べて、形を作って提案をする形。我々が想定しているワークショップは提案ではなく皆さんの意見をたくさん聞きたい。できればこのワークショップも、前回

は白紙だったが、白紙の中で意見をいただくのは、今度は難しいと思っている。このたびいただいた求められる機能には、どういう活用策があるのかという具体的な話になってくるので、市民の皆さんに意見がいただけるような資料を作らなければならないと考えている。どういう資料ができるのか、我々もできるだけ提案しながら、次回の専門家委員会で意見をいただければと考えている。

○委員 ワークショップの出口を、今のうちから考えておいた方がいい。市民の方との貴重なコミュニケーションの場だと思うので、今回まさに議論にあったような、中長期的計画と紐付けて市のスタンスが適切に伝わるようなことを考えていただいた方がいいと思う。施設活用のところ、オープンスペース等、市民側にも運営をゆだねていく想定をするのであればワークショップの段階から一緒にやっていただけるプレーヤー、関係者の方を巻き込みながらやっていけると今後に繋がっていくのではないかなと思う。

○委員 ワークショップを市民の方にやっていただくのであれば、前回のフリートークから一歩進んで、「平日とか休日とか」、「建物があるとかないとか」キーワードがあって整理をしていただくと、出口のところで整理をして、前回と同じではなくわかりやすい資料になると、また一歩進むのかなと思う。

○委員 ロードマップをもう少し詳しく示してほしい。専門家委員会をいつ、何回やるのか整理してほしい。「可能な限り早い時期に」などの表し方はあまりにも曖昧。修正はかかると思うが、いったん示し、調整しながら進めてほしい。

○委員 活用策に関するワークショップ、アンケートになると、より具体的な議論になる。そうすると機能のとき以上に、あれが欲しいこれが欲しいという話になりやすく収集がつかなくなると思う。皆さんはそれにどういうふうにご貢献しますか、どうやってみんなで作っていきますかという雰囲気、みんなで何を作っていきますかという雰囲気でワークショップを進めてほしい。何が欲しいかという受け手ではなく、自分たちで何を作りたいかという雰囲気で議論すればと期待する。

○委員 おっしゃる通り。総論はオッケーで各論はこれが欲しいという話になる。市民の総意をうまくどういうふうにとまとめられるかというのが、次回の課題だと思う。その時に活発な議論をしていただきたいと思う。

■事務局 どうもありがとうございました。本当に重要な意見をたくさんいただいた。今日いただいた意見をしっかりと見つめて進めていきたいと思うので、よろしく願います。本日、事務局からは以上。次回の委員会はまた日程調整させていただく。ありがとうございました。